

【令和4年度】

1 寄附活用事業の事業費 26,875,436 円

2 寄附額計 16,900,000 円

1. 市民農園運営・管理事務

・地域再生計画に掲げる事業名

活力ある筑前町を維持するための人材の育成と雇用を創出する事業

・事業の概要

非農家の方や都市部の住民が農作業を体験し、農業への理解を深めるとともに豊かな自然、文化、人々との交流を通しての余暇活動を行うことを目的とし、平成16年から開設。1区画、年額6,000円にて84区画を貸出している。

・事業費の内訳

事業費計 1,516,534 円

地方創生応援税制の適用のある寄附額計 300,000 円

上記以外の財源 1,216,534 円

2. 町内まつり事業事務

・地域再生計画に掲げる事業名

時代に合った地域をつくり、安心して住み続けたいまちを創出する事業

・事業の概要

地域コミュニティの推進と本町の活性化及び町民の連帯感を醸成するために開催される祭り・イベント事業に要する経費に対し補助金を交付し、また、祭りの実施や広報活動等の支援を行う。

・事業費の内訳

事業費計 10,814,000 円

地方創生応援税制の適用のある寄附額計 2,200,000 円

上記以外の財源 8,614,000 円

3. 戦跡（掩体壕、大刀洗飛行場跡地周辺戦跡等）保存・活用事業

・地域再生計画に掲げる事業名

地域魅力の情報発信により、筑前町への新しいひとの流れを創出する事業

・事業の概要

かつて本町には旧陸軍が東洋一の規模を誇った大刀洗飛行場を中心とする一大軍都が存在し、歴史的役割を果たしながら大きく発展していったが、昭和20年3月の大空襲によって壊滅的な被害を受け、民間人を含む多くの命が失われることとなった。また、この飛行場は特攻隊の中継基地として、数多くの若き特攻隊員たちの出撃を見送った場所でもある。この地で起きた歴史を学び、戦争の記憶を留め伝えていく施設として大刀洗平和記念館は建設された。周辺には今もさまざまな戦跡が残っており、中でも高上(たこえ)地区にある掩体壕(えんたいごう)は戦跡保存公園として整備する予定で、このための財源をとして寄付を募り、基金を造成する。

・事業費の内訳

事業費計	14,544,902 円
地方創生応援税制の適用のある寄附額計	14,400,000 円
上記以外の財源	144,902 円